



カフェオーナー
長尾省吾 学長

café Seigo

～ 国際女性デー 学長とトークしよう ～

2013. 3. 6



「café Seigo」カフェオーナー学長よりご挨拶

ようこそ、カフェ・セイゴ「学長カフェ」においでくださいました。お礼申し上げます。
今日は、男性が女性を尊敬し、ミモザの花をささげる日だと同っております。

昨年の第4回中国四国男女共同参画シンポジウムでも申し上げましたが、NHK「クローズアップ現代」のIMFの報告で女性のラガルド専務理事が「日本の女性の就労形態はM字型カーブを描いており、そのM字型が西洋型に変革すれば、“女性は日本を救える”という結論に至った」とおっしゃっていました。

M字型を描くというのは育児休暇、その後の復職の問題等、社会的サポートが十分にできていないということに尽きるのだと思います。M字型がアメリカ型、ヨーロッパ型に変革するとGDPが4～5%アップするということです。就労したいけどできない女性は400数十万人に上ると言われています。そういった意味で女性の社会での役割は大きいということです。

世界経済フォーラムで発表されたジェンダーギャップ指数では日本は135カ国中101位です。女性の社会的地位が先進国の中で随分低いという数字です。アメリカでは女性の管理職は41%、ヨーロッパでは30%、ところが、日本では11%。世界では、ものすごい勢いで女性管理職が増えています。日本では、まだまだ女性の参画が少ない、特に管理職への参画が少ない。

国立大学の女性教員の割合は13.6%です。2年後にはこれを17%にするという方針が出されております。幸い香川大学は18.5%で、文部科学省には、19%以上を目指すと報告しております。実際、女性に限定した教員の採用枠も作り、女性研究者の助成金を用意し、女性専用テニユアトラック制も整備して、進めていきます。

大河ドラマ「八重の桜」が好評です。新島八重さんは、かつて山陽高等女学校の講演記録の中で「女子は国の栄の中心でなければならない。そのためには女性は強い意志を持って道をたどらんことを」と述べていました。八重さんも明治維新のころから、ずっとそういうことをおっしゃっていたんですね。なのに、日本は同じことをずっと繰り返してきてしまいました。

今日は、女性に何を言われても忍の一文字で、しっかりお話を伺おうと参っております。理事・学部長の方もそれぞれの立場で、女性の方々のご意見、要望を丁寧に受け止めて差し上げてください。



☆カフェオーナー☆

長尾省吾学長

☆オリーブハート賞受賞者☆

野元美佳、岡和（オープンキャンパス）・片岡みどり、小郷将太（サマースクール）・高原加奈子（出前講座）・瀬尾浩美、石田茜（ガールズパーティ）・泉川美晴（医学部助教 ワークイノベーションと優れた研究）・門出慶子（環境整備G職員 男性の多い職場での一人勤務）・和田健一（女性の先生への研究補助）、山崎美保子、榊原智子、高濱華織、角田佳奈（研究補助者）

☆ゲスト☆

大西美智恵・當目雅代・山下真弓・佐々木睦子・名越民江・金正貴美・青山夕夏・大西えい子・森山智美・小方朋子・小野寺なおみ・大森美津子・山下賀容子・金丸美和・轟靖子・古島愛・森本幹子・乙武美穂・角田圭美・福岡千鶴・岩佐真実・池田紗和子・片山理恵・井上万梨恵・寒川司信・佐藤敦子

☆Café Seigo応援団☆

高木健一郎理事（労務担当）・板野俊文理事（総務・研究担当）
大平文和理事（評価・社会連携担当）・上杉正幸副学長（教育改革担当）・阪本晴彦副学長（情報担当）・小川保正監事
藤井宏史経済学部長・肥塚肇雄法学部長
浅野まみ・小西民恵・堀家久仁子（給与福利グループ）
石井明・長安めぐみ・香西里紗・松田多恵・川田靖子・上野壽夫（男女共同参画推進室）

☆広報☆

立石晃一(広報チーム)

総勢57名参加(女性43名 男性14名)



カフェオーナー 長尾省吾学長





Mimosa
花言葉は豊かな感受性

3月8日の国際女性デーを記念して、女性限定のカフェ・セイゴをオープンします。仕事の手を休めて、講義の後に、お帰りの前に、おいしいお茶とスイーツを食べて帰ませんか？香川大学の女性ならどなたでも参加できます。あなたの大学生活について、学長や管理職の皆さんと気軽に話してみよう。女性に美味しいお茶をいれてくださる男性も、大いに歓迎します。

と き：2013年3月6日(水)15:30～17:00
ところ：大学会館1階ホール(キャリア支援センター横)
ひ と：香川大学の女性 学生・職員・教員
(非常勤の方もどうぞご参加ください)
※ 男女共同参画に貢献した学生さんの表彰も行います。
申 込：男女共同参画推進室 締切2月末日

3月8日 国連「国際女性の日」International Women's Day。世界中で「国際女性の日」のイベント、シンポジウム、集会が開かれます。ヨーロッパではこの日、男性が尊敬する女性にミモザの花を贈ります。いつもがんばっている女性たちに敬意を表する日です。参政権を求めて女性たちが立ちあがった日から100年あまり。「女性が元気になったら、男性も元気になる。社会はよくなる」を信じて働く私たち、そして、学ぶ女子学生の皆さんも、いっしょに世界に思いをはせておしゃべりしましょう。

電話：087-(832)1066
内線：1055
FAX：087-(832)1067
電子メール：sedoko-room@uokagawa.ac.jp
P-Box：31
<http://www.kagawa-u.ac.jp/sedoko/>

香川大学男女共同参画推進室

café Seigoオープン



大平文和理事
(評価・社会連携担当)



長尾省吾学長



板野俊文理事
(総務・研究担当)



高木健一郎理事
(労務担当)



上杉正幸副学長
(教育改革担当)



阪本晴彦副学長
(情報担当)



小川保正監事

大学の幹部の先生方が、今日は直接お話を聴いてくださいます。



オリーブハート賞表彰式



野元美佳さん，岡和さん
(農学部オープンキャンパス)



小郷将太さん (サマースクール)
推薦者 小方先生



高原加奈子さん (高校への出前講座)



石田茜さん (工学部ガールズパーティ)



泉川美晴先生 (優れた研究とWLB)



全員に笑顔で賞状を授与する長尾学長



門出慶子さん
(女性職員の新たなロールモデル)



榊原智子さん・山崎美保子さん (研究補助者)



推薦者の金正先生・青山先生



角田佳奈さん・高濱華織さん (研究補助者)

和田健一さん
(2人の女性の先生への研究補助)

欠席だった片岡みどりさん
(サマースクール) は、
後日、推進室で授与。

欠席だった瀬尾浩美さん
(ガールズパーティ) へは
工学部経由でお届けしました。



全員にミモザを笑顔で手渡す藤井経済学部長

にぎわう café Seigo



司会の石井明副室長



藤井経済学部長



肥塚法学部長



色々な立場の方と交流することができました。



学長へ10のお願い

～参加できなかった私たちからも、参加した私たちからも・・・～

1

経営はとても重要ですが、現場の声を反映できる職場づくりをお願いいたします。

(30代 医師)

2

職位が下の者でも、自由に意見が述べられる機会・場所(希望が通るかどうかは別として、意見を持ち、それを表現していることが大事だと思います)。

(30代 事務職員)

3

非常勤職員に対して次年度から課せられる、医学部駐車場代が高すぎるように思います。また、月額3000円は他の学部と比較しても高いように思われます。

(40代 事務職員)

やはり“学長への小さなお願い”のスライド4. 駐車料金をぐうにか下げてほしい！！

(30代 職種不明)

4

教育・研究を推進するために、現在の看護学科の人数は大変、不足しています。日々の業務をこなすことにも困難を感じています。学科の中は、女性教員が多いですが、医学部としては、医学科が男性が多く、結局のところ学部全体として、男女共同参画という点で遅れていると思います。今は、とにかくに人員を増やしてほしい。そうしなければ、本当に大きな問題になると思います。

(50代 教員)



環境の整備

5

農学部の学生駐車場は照明もなく、足場も悪いので、夜中はとても怖いです。整備していただけたら、安心して、実験や研究に励めると思います。よろしくお願いします。

(20代 学生)

農学部の学生駐車場の整備をしてほしいです。夜中まで実験をしなくてはいけないときに、とても暗いので不安です。よろしくお願いします。

(20代 学生)

6

教育学部の改修工事のため、約半年、給湯設備のある部屋が使えなくなると聞いています。職場環境として水が使えないというのは非常に問題です。特に感染症対策として手洗いは重要です。ぜひとも融通のきいた対応をお願いしたくよろしくお願いいたします。

(40代 教員)

両立支援

共同参画

7

安定した職場供給の維持を希望します。やっと慣れてきた仕事でも、5年の任期での退職後に、年齢も高くなり次の職場が探しにくく就業しにくい。

(40代 事務職員)

8

研究補助者の配置により本当に助かりました。

(30代 教員)

知ってほしい

10

学長との懇談会(各学部・学科めぐり)を定期的に開催していただきたい。(社会情勢や国立大学系協議会の動き、他大学の動き等からの意見情報収集も併せて報告することもあるので)

(60代 教員)

学長先生にいろいろな先生方や学生さんたちの頑張りを知っていただきたい。(50代 教員)

またこのような機会をお願いします。(30代 事務職員)

9

男女雇用において、管理職の割合がまだまだ日本は低いと今日知りました。特に男性が上司の場合は、その上司のジェンダー意識が大きく影響すると思います。香川大学において、平等な意識での管理職であってほしいと思います。

(50代 教員)

課題をたらいまわしにしないでほしい。

(30代 職種不明)

医学部には女性職員が多いです。是非、医学部内でもこのような会を開催してほしいです。

(50代 教員)

ルーヴのドーナツとジュレ

ルーヴ様、医学部徳田先生、おいしいドーナツとジュレのご提供をありがとうございました。
(参加者の女性一同)



Dreaming

生まれ変わった、さぬき新糖ドーナツです。

私たちの郷土・香川で「さぬき新糖」の研究が行われ20年。

天然系機能性甘味料の希少糖を含むシロップとして
世界で初めて商品化されました。

今回生まれ変わった焼ドーナツに使う糖分の25%に
希少糖含有シロップを配合し、オーブンでふっくら焼き上げています。

Doux Atelier

Löwe

菓子工房 ルーヴ

香川大学の一員として、様々な場所で女性が活躍していることを知る良い機会でした。



部局を超えて
世代を超えて
女性が語り合う

お客様の声



誠実で一生懸命、香大の女性職員を支えていこうとする姿勢が伝わりました。ありがとうございます。

普段、研究室以外の女性の活躍を知る機会がないので、多くの方の事を知ることができ、自身のやる気にもつながりました。

また、学長とお話もさせていただき、非常に有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございます。もっと幅広く、皆さんの活動を広報できれば素敵だなと思いました。

ケーキ、大変おいしくいただきました。

年に1度このような機会が持てるのは良いことだと思います。

このような会を開いていただいた男女共同参画推進室の方々にまずはお礼を言いたいと思います。なかなかお会いできない理事や学長と話す機会ができました。

楽しく有意義なカフェでした。学長や理事と触れ合える機会となります。

意外に楽しかったです。ありがとうございました。

たくさんの方とお話することができ、また、女性の活躍を知ることができ、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

男女共同参画推進室での多くの事業の取組を知ることができた。

香川大学の一員として、様々な場所で女性が活躍していることを知る良い機会でした。

このような名誉な賞を頂き、感謝しています。

また、普段お会いすることのできない学長と面会できてよかったです。

自由にどんな者でも意見交換できるのは良かった。

くつろいだ雰囲気の中で、学長先生はじめ、理事の先生方と和やかな時間を過ごすことができ、うれしかったです。表彰された方々の活躍を知れたこともよかったです。おいしいお茶とケーキも大変よかったです。ミモザの花もステキでした。

気さくに理事の方々と話が出来て、来たかいがありました。

☆本日の満足度

大変満足	7
満足	6
あまり満足でない	1
満足でない	

☆次回も参加したい

はい	13
いいえ	
わからない	1

後半の少しの参加だったのであまり言えません。

でも、開催されたことに対して感謝申し上げます。

アンケート14名回収

香川大学 男女共同参画推進室olive・heart

olive・heart は香川大学男女共同参画推進室の愛称です。



olive・heart

ロゴデザイン
福岡県 中本 竹識さん

「性別にかかわらず、自分の人生は自分らしく、
仕事も家庭もバランスを取って、豊かに幸せに生きたい・・・」

そんな願いをかなえるのが“男女共同参画社会”です。
男性も女性も、学生も教職員も皆さんが対象になります。

1. 男女共同参画(gender equality)について学生・職員・大学内外の方にむけて広めていきます。
2. 学術的な専門分野で女性がいきいきと活躍できるよう応援します。
3. 子どもができて、介護を抱えていても、学習や研究、仕事と両立していけるように応援します。
4. ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の調和)に配慮した大学になるよう工夫し、皆さんの声を届けます。

香川大学の男女共同参画推進室をイメージし、男女の人と香川県の特産のオリーブとハートをモチーフにしてデザインしました。

男女が協力し手を繋いで輪を作った形がオリーブ形になっています。中央にはハートを配しました。シンプルで親しみやすく、香川大学の男女共同参画推進室を広く内外にPRできるロゴマークです。

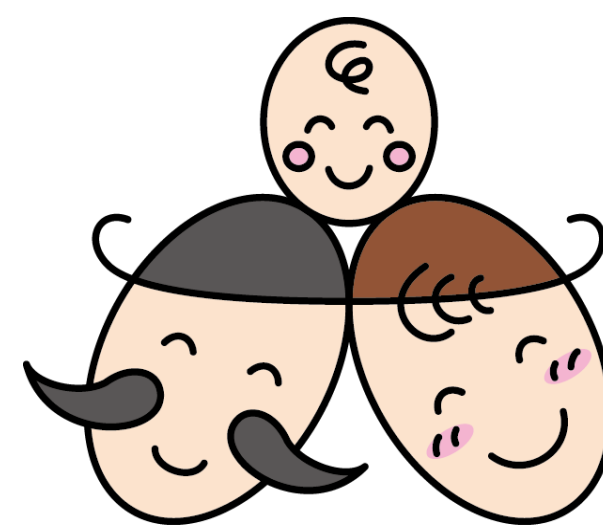
さんかくんは香川大学のワーク・ライフ・バランス応援マークです。

教職員の働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備を進め、仕事と子育てを両立し、生き生きとそれぞれの能力を十分発揮できる職場づくりを目指しています。

既婚未婚に関わらず、子どもの有無に関わらず、大学すべての構成員が安心して働ける職場になるように、ワーク・ライフ・バランスを大切にしていきたいものです。

育児・介護等に取り組む教職員への配慮を確かなものにし、制度の周知を広げる応援マークとして「さんかくん」を活用していきます。

「ワーク・ライフ・バランスハンドブック」を作成し配布しています。HPでも情報発信をしています。



さんかくん

デザイン
大西 えい子さん
(教育学部 准教授)

お父さんお母さんで支え合い協力し合って子どもを育てているイメージのマークです。
みんなニコニコ笑顔です。

マークの名称は男女共同参画の参画と、社会参加・育児参加等の参加と、支え合っている三人の顔が三角に並んでいることの意味の融合とゴロ合わせで「さんかくん」です。

両立支援 研究補助者の配置

平成22年10月より、子育て等に取り組む女性研究者に両立の時間を確保するための研究補助者を配置してきました。利用者に変化好評で、研究業績にもいい影響が出ています。平成24年度からは、研究者の配偶者を持つ男性研究者にも配置が可能になりました。来年平成25年度も、学内予算を確保して、研究補助者の配置を行っていきます。



あなたのワークライフバランスを応援します！
女性研究者及び子育てに取り組む男性研究者の皆様 研究補助者制度を活用しませんか？
4月採用 研究補助者新規募集のお知らせ
香川大学男女共同参画推進室

平成24年度は延べ20名の研究者の方が、研究補助者を活用され大変好評でした。また、研究補助者として学部学生や大学院生も活躍し、貴重な経験をしています。
平成25年度は利用される方の研究状況や補助業務内容に応じ、期間は1年以内、上限週4時間までの利用の申請が可能です。（応募多数の場合、予算執行上、希望に沿えない場合もあります。）なお、女性研究者の場合は、独身の方も利用できます。別添の公募要領をご覧ください、ぜひ、活用をご検討ください。



応募期間：平成25年2月5日(火)～2月12日(火)



☆配置例☆ 申請受付後、申請者の人数・補助業務内容・緊急度等により、審査の上、予算の範囲内で、配置時間数は決定させていただきます。

1年間週4時間上限で申請出来ます。申請者の研究実態に合わせて、柔軟に対応しています。	*必要な時期に必要な時間数を配置することが出来ます。1年間どの時期からでも可。	*1人の研究補助者を数人の研究者で雇用して、シェアすることもできます。
--	---	-------------------------------------

Aさん 12か月 週4時間 学部生雇用



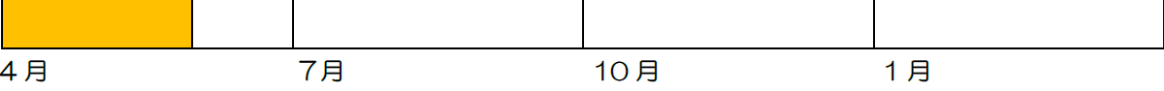
Bさん 6ヶ月間 週8時間 大学院生雇用



Cさん 3か月間 週16時間 社会人雇用



Dさん 2か月 週24時間 社会人雇用



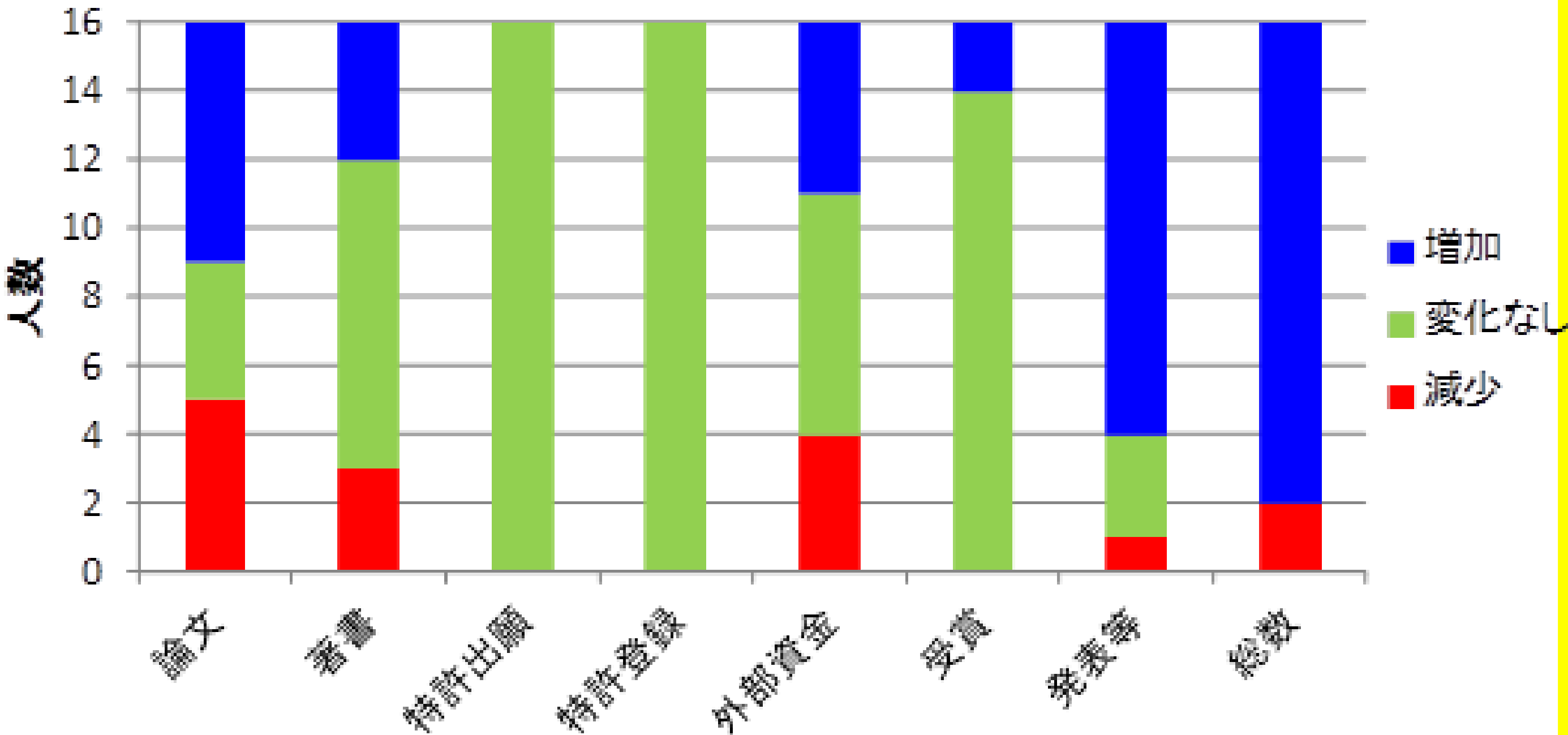
★ 妊娠や急な介護・看護などの事由の場合は、相談に応じますので、ご遠慮なくお申出ください。

☆研究補助者利用者の声☆ 実際に利用中の先生方から
○今、研究補助者が来る時には、研究の時間が確保できます。学生の教育や大学運営上の委員会活動などで研究時間が確保できない者にとっては大変ありがたい制度です。今後も継続してほしい制度です。
○子育てで大変な30代～40代の女性に利用してほしい制度です。
○科研費を取ることはできませんが、実績ある成果を出すのに、実験等に時間を取られ、大変なエネルギーが要ります。男女共同参画推進室の補助者制度が唯一の助けになっています。
[お問い合わせ・申請書提出先] 男女共同参画推進室 長安・川田まで（幸町北5号館1階）
内線 1055 メール sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp

支援要件

支援要件	2010	2011	2012
出産・育児	3	9	10
介護	3	4	4
単身赴任	4	3	2
委員会負担	1	1	2
計	11	17	18

研究補助者配置前後の業績の変化



研究補助者の配置の前後では、学会発表や社会貢献の数に大きな変化が出ています。

自然科学系分野だけでなく、人文・社会分野、女性だけでなく、男性にも範囲を広げ支援しています。

ひ教育学部での取組

1.女性研究者支援

○研究補助者配置

平成24年度は、研究分野の制限がなくなり、現在2名の研究者がそれぞれ1名ずつ研究補助者を配置しています。データ収集や資料作成等、研究の補助作業を研究補助者に依頼することで、研究活動の効率化に成果を上げています。

○啓発講座の開催

学内の男女共同参画を推進し、育児等に取り組む者の教育研究環境を整え、女性研究者の採用を積極的に促進するため、男女共同参画・女性研究者支援に関する研究会を実施しています。また、学部内において女性研究者の育成支援の重要性の理解を深めるために、教授会を利用した研修会を開催しています。



平成23年度啓発講座講師
諸橋 泰樹 氏
「どうして男女平等が大学に求められているのか」

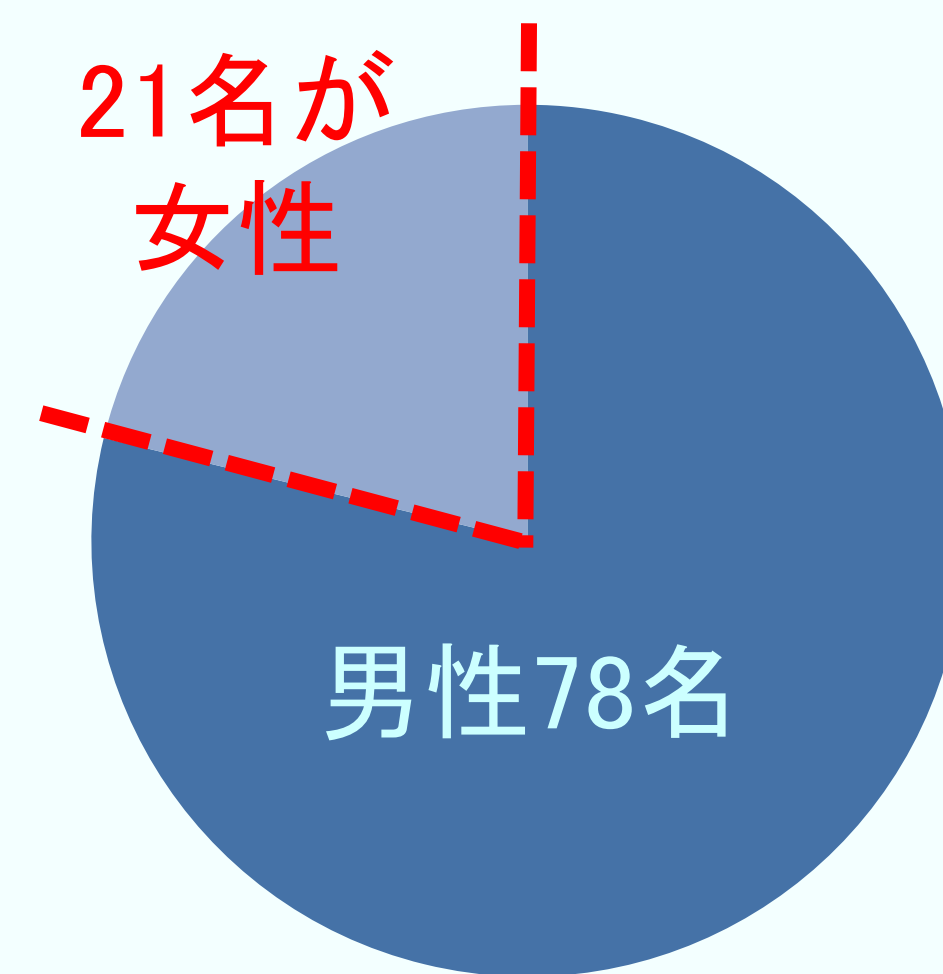


香川大学 男女共同参画推進室
長安副室長による研修会

【研究者女性比】

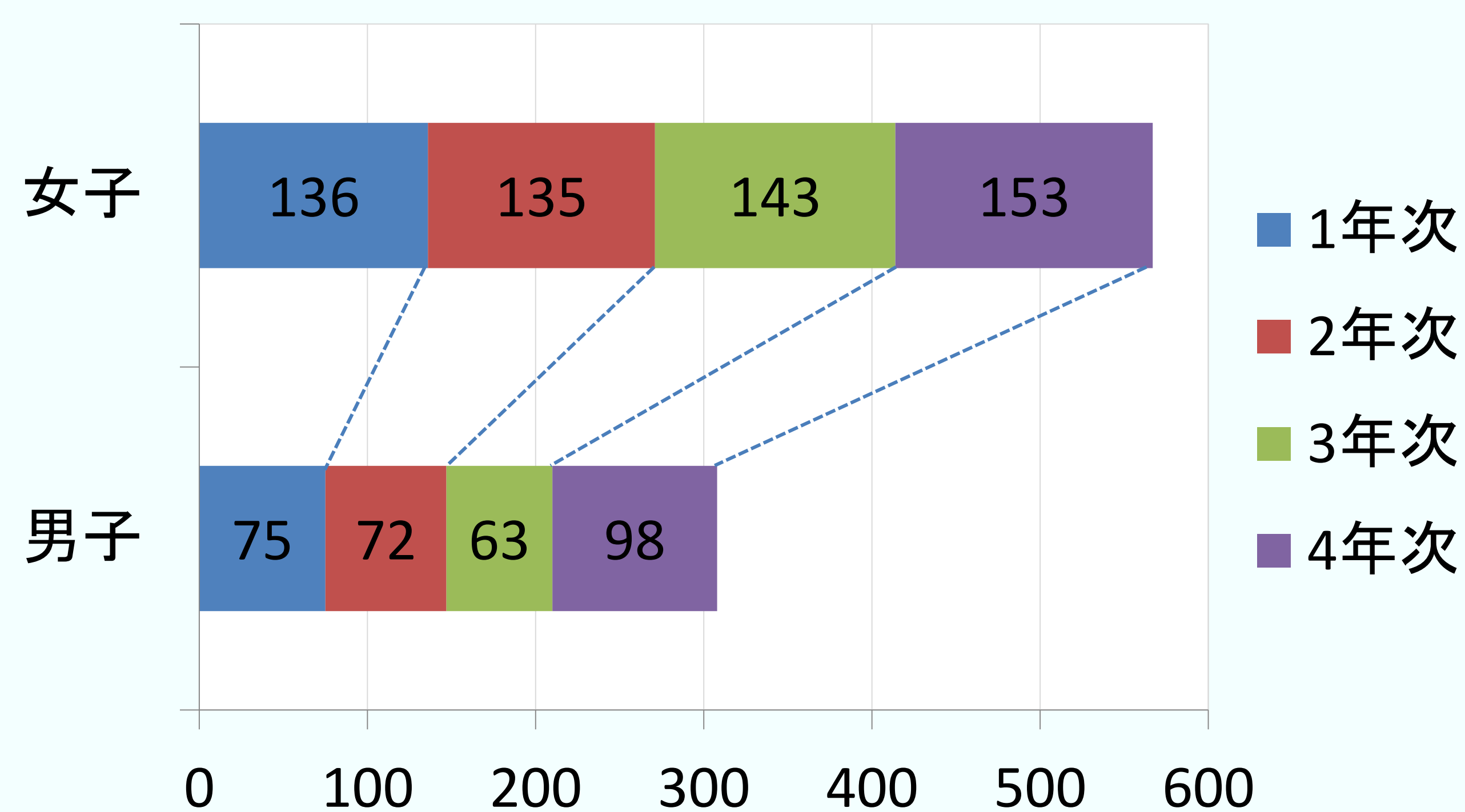
約100名の教員の内、女性教員は

20名を超えます



学生生活のあらゆるステージで女性がリーダーシップを発揮し、女子学生の目が生き生きと輝いている学部といえます。

【男女別学生数】



2.次世代育成

○キャリアデザイン講座

「夢をかなえる！自分(あなた)の売りはなに？」をテーマに、学校教育教員養成課程、人間発達環境課程それぞれの課程より、卒後約3年～10年という、学生と年齢の近い卒業生を講師に招きました。

39名の参加があり、参加者の感想から、企業への就職を希望している学生にとってはとても関心が高かったことが伺えました。女性として多彩なライフステージを踏まえた新しい分野への挑戦、主体的に選択し自己実現を果たすキャリア形成のあり方について考える貴重な機会となりました。地域マネジメント研究科のMBAについても情報提供を行いました。



山神教育学部長による開会の挨拶



ポスター



一般企業で活躍中の卒業生3名を講師に招きました



岡教授による閉会の挨拶



講師を囲み食事をしながら交流

○ロールモデル集発行

学校教育教員養成課程からは教科教育コースで音楽領域・理科領域を、人間発達環境課程からは国際理解教育コースで日本語教育を専門としている女性研究者のロールモデルを掲載しています。

香川県内の中・高等学校や近県の高等学校に配布しており、出前講座についても周知を広げています。



法学部での取組

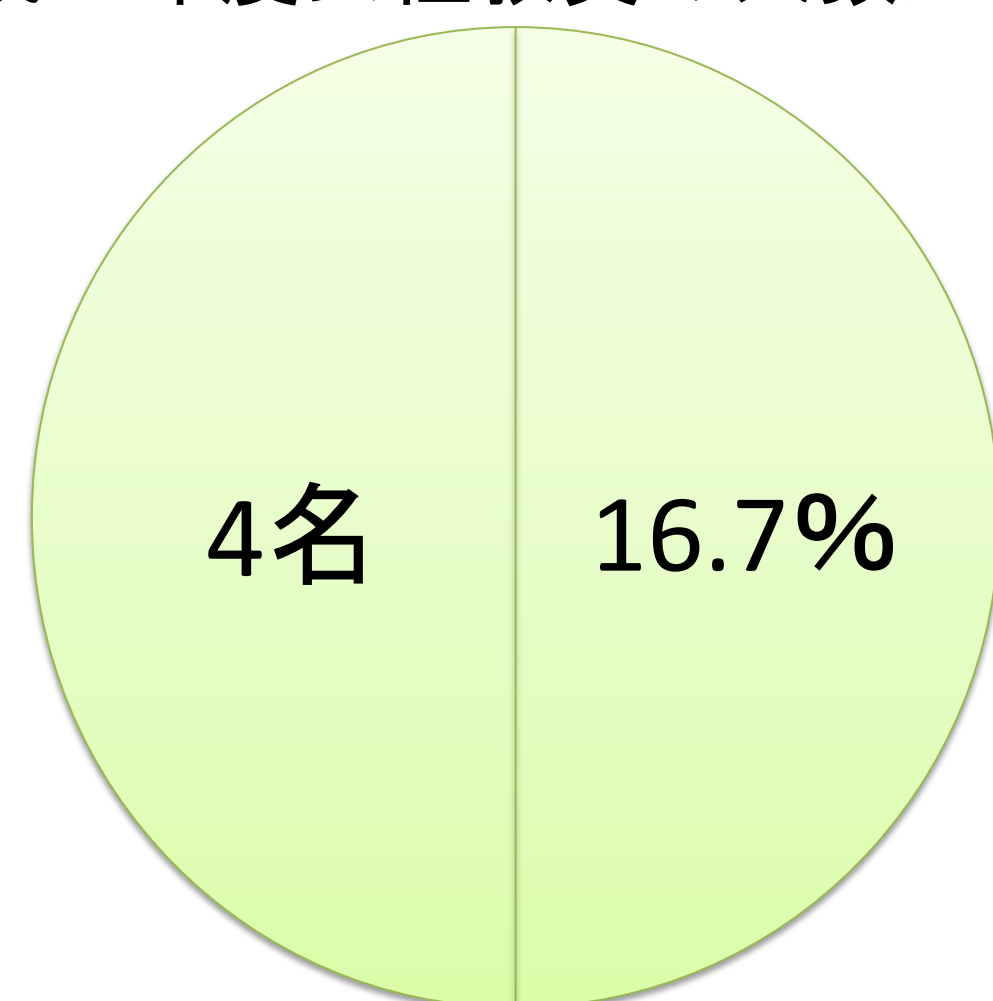


1. 女性研究者支援

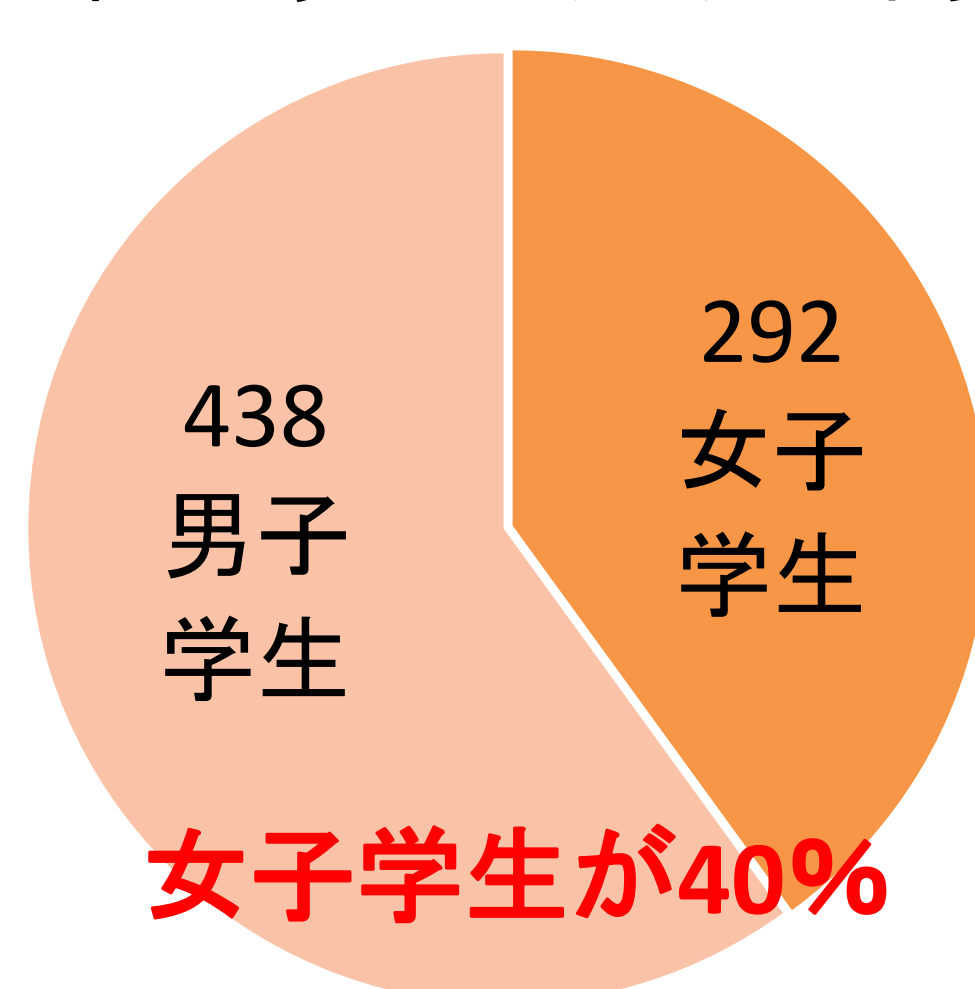
○研究補助者配置

研究者が育児・介護等を理由に研究を断念することなく、研究と育児・介護等とを両立させつつ、優れた研究を推進することができる環境をつくる目的で女性研究者に研究補助者を配置しました。法学部では1名の研究者に研究補助者を配置し、成果を上げております。

平成24年度女性教員の人数／比率



法学部での男女比(平成24年度)



2. 次世代育成

○キャリアデザイン講座

女性のロールモデルならびにキャリアパスを示すことを目的として、キャリアデザイン講座を開催しています。

多方面で活躍している身近な先輩から多彩な経験談を聞くことで、女子学生は進路選択の幅を広げ、自身のキャリアデザインに取り組む機会になっています。

平成24年度はアメリカ在住の卒業生のバーカー・N・尚子さんを招き、女性として多様なライフステージを踏まえた新しい分野への挑戦、主体的に選択し、自己実現を果たすキャリア形成のあり方について考えました。(参加者数:34名)



バーカー・N・尚子氏

学部長の挨拶



歓談の様子

○啓発講座の開催

学内の男女共同参画を推進し、育児等に取り組む者の教育研究環境を整え、女性研究者の採用を積極的に促進するために、男女共同参画・女性研究者支援に関する研修会を実施しています。

また、セクシャルハラスメント等を予防するために、教授会を利用した研修会も計画しています。

○ロールモデル集発行

進学希望の女子高校生にむけてロールモデル集を発行しました。法学部では女性研究者2名と、卒業生2名を紹介し、キャリアデザインにむけて情報提供を行っています。

ロールモデル集は香川県内の中学・高等学校にも配布し、出前講座についても周知を広げています。



3. 採用計画

採用人事への女性教員の参加：業績評価に関する評価が同等である場合は、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性を優先的に採用するため、その制度的保障として、教員選考委員会に女性教員を登用しています。

4. 法学部独自の取組み

- ◆環境整備：女子学生の増加に伴う、女性用トイレの美化と改修・増設
- ◆女子学生のキャリア支援：法学部開設講義「キャリアと法」(オムニバス方式)を開講し講師陣に占める女性の割合が40%になるように努め、女子学生の社会進出を支援しています。

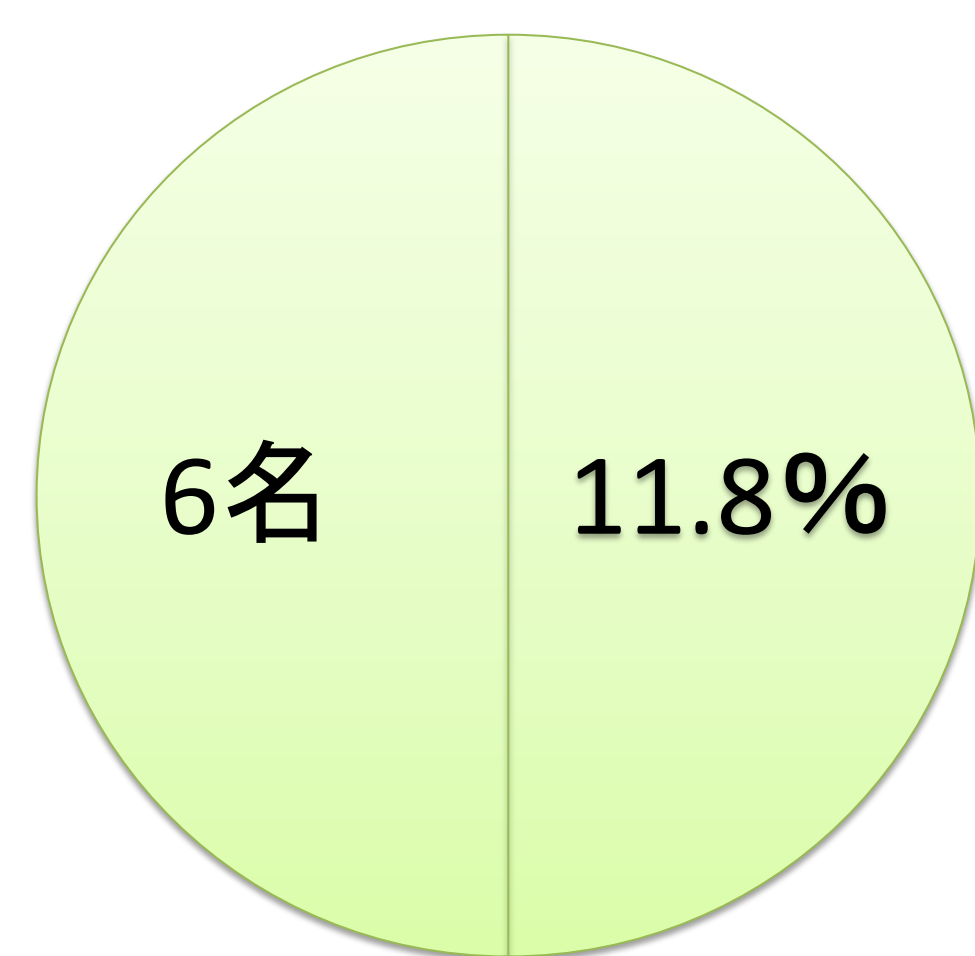


経済学部での取組

1.女性研究者支援

○研究補助者配置

研究者が育児・介護等を理由に研究を断念することなく、研究と育児・介護等とを両立させつつ、優れた研究を推進することができる環境をつくる目的で研究者に研究補助者を配置しました。経済学部では1名の研究者に研究補助者を配置し、成果を上げております。



平成24年度女性教員の人数／比率

論文・資料収集等を依頼し、時間確保に貢献してもらっています。効率的に研究が進んでいます。



研究補助者配置利用教員の声

○啓発講座の開催

学内の男女共同参画を推進し、育児等に取り組む者の教育研究環境を整え、女性研究者の採用を積極的に促進するために、男女共同参画・女性研究者支援に関する研修会を実施しています。

また、学部内において女性研究者の育成支援の重要性の理解を深めるために、教授会を利用した研修会も開催しています。

2.次世代育成

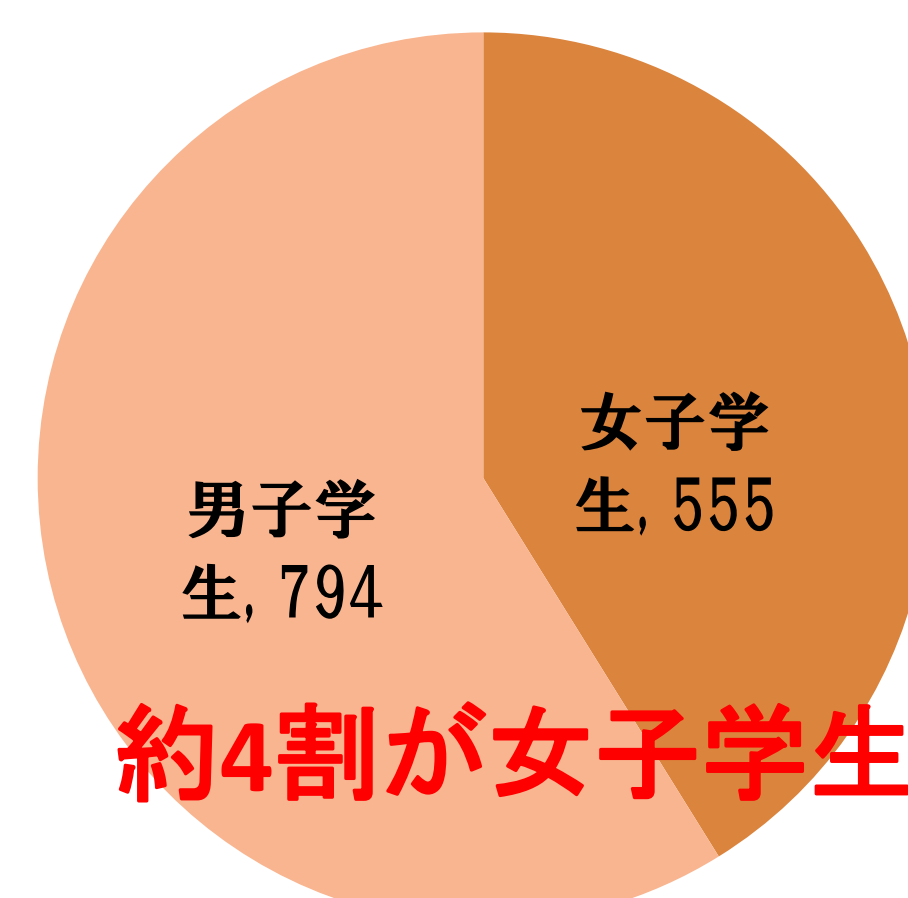
○キャリアデザイン講座

女性研究者のロールモデルならびにキャリアパスを示すことを目的として、キャリアデザイン講座を開催しています。

多方面で活躍している先輩から多彩な経験談を聞くことで、女子学生は進路選択の幅を広げ、自身のキャリアデザインに取り組む機会になっています。

経済学部では初の女性学部長・研究科長を歴任した井原理代氏を招いて、女性として多様なライフステージを踏まえた新しい分野への挑戦、主体的に選択し、自己実現を果たすキャリア形成のあり方について考えました。（参加者数：39名）

平成24年度学部学生の構成



（夜間主コースも含む）

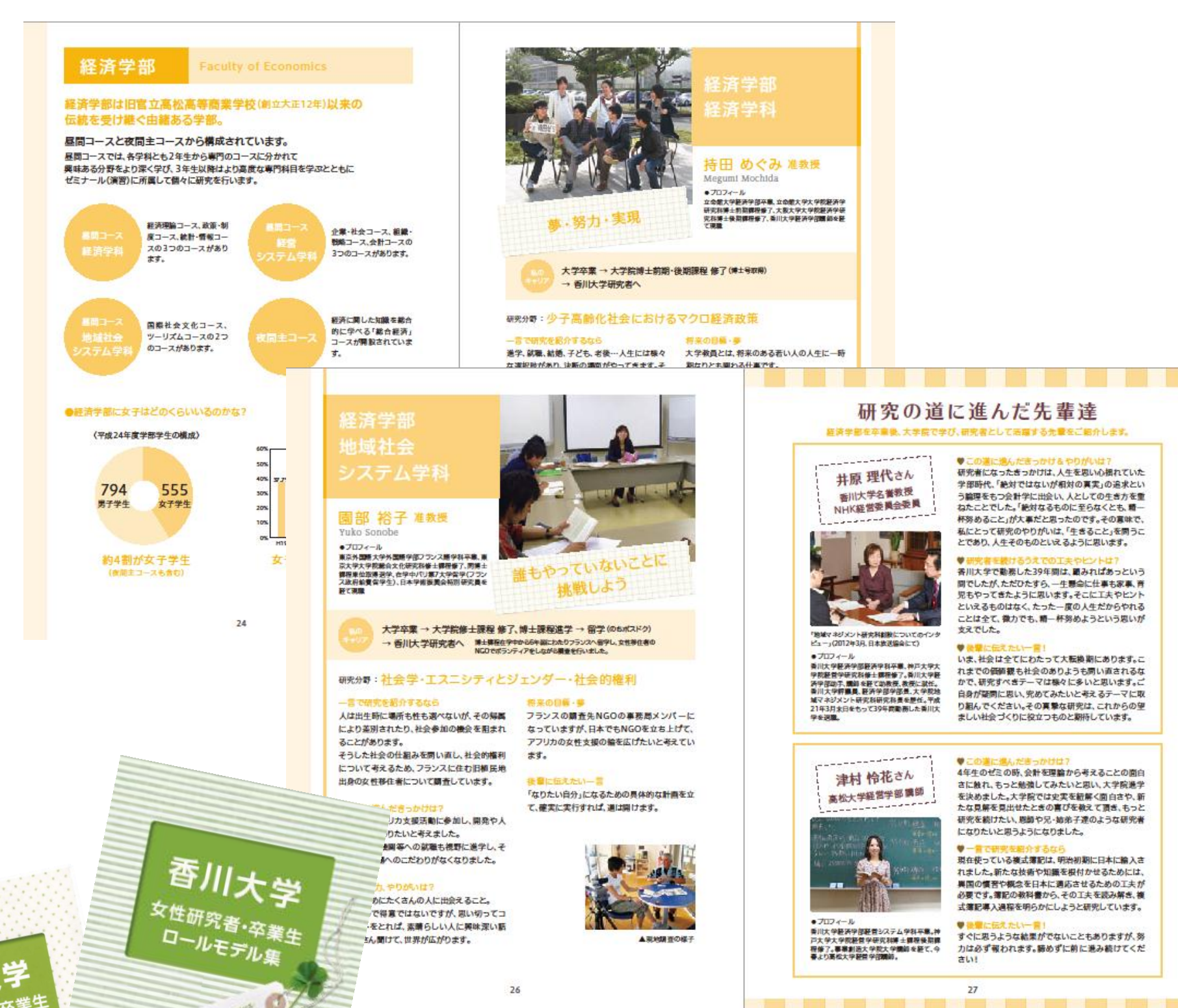


「夢をあきらめない秘訣」について力強く語る井原先生



学部長の挨拶

学生から井原先生へ質問



3.女性研究者採用計画

経済学部では5年ごとの採用計画を立て、女性教員の採用促進に向けて取り組んでいます。現在、1件の公募を実施中です。

4.学部独自の取組み

子育て等と研究を両立しやすい環境づくりに取り組んでいます。

- ◆育児・介護期間中の夜間・休日勤務減免措置（男女問わず、申請により）
- ◆産育休からの復帰支援（講義負担の軽減等）





医学部での取組

1. 女性研究者支援

○研究補助者配置

研究者が育児・介護等を理由に研究を断念することなく、研究と育児・介護等とを両立させつつ、優れた研究を推進することができる環境をつくる目的で女性研究者に研究補助者を配置しました。医学部では初年度から利用され、延べ医学科1名、看護学科9名の研究者に研究補助者を配置し、成果を上げております。

○女性医師の集い

ワーク・ライフ・バランス支援室の呼びかけで集まる医学部附属病院に勤務する女性医師の方々の情報交換の場です。会を重ねて4回開催されました。



第3回の模様
病児・病後保育室の運営状況
利用状況の報告などが話題に



第4回の模様
研究補助者配置などの紹介

○研究促進のための 研修会(FD)

現場で活躍する女性研究者を招聘し、本学の女性研究者のさらなる飛躍を目指し、看護学科で2回実施しました。(参加延べ人数:109名)



上別府圭子氏



ワット隆子氏

○サマースクール開校

ワーク・ライフ・バランス支援室との共催で平成23年、24年夏休み期間中にサマースクールを開校しました。香大っこサポーターとサークルの協力を得て、教職員の子どもたちのたくさんの笑顔が見られました。(平成23年33人、平成24年9人参加)



平成23年「医学部探検隊」



平成24年最終日金メダル授与

○病児保育施設新設

教職員からの強い要望があった病児保育施設を三木町キャンパス内に平成24年4月に新設しました。



○病児移送サービス

平成23年から実施している子育てタクシー利用した病児移送サービスは日本初の取組みです。平成24年からは幸町キャンパスでも利用可能になりました。



○男女共同 参画啓発講座

医学部におけるワーク・ライフ・バランスを考えるべく、見識者に来ていただき講演会を実施しています。



12/6に開かれる
柳田邦男氏講演会

○キャリアデザイン講座

医学生と医師のキャリア形成に関する情報交換会として実施しました。平成23年11月に実施した第4回は学内外から100名(うち学生55名)の参加がありました。



第4回の模様

11月19日開催
第5回のチラシ



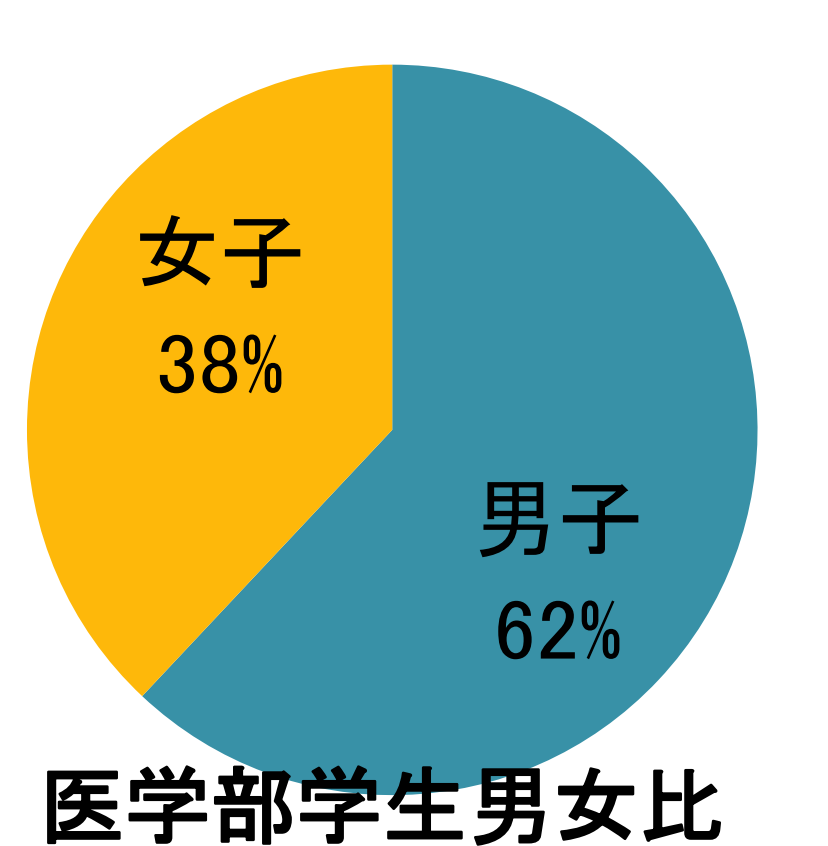
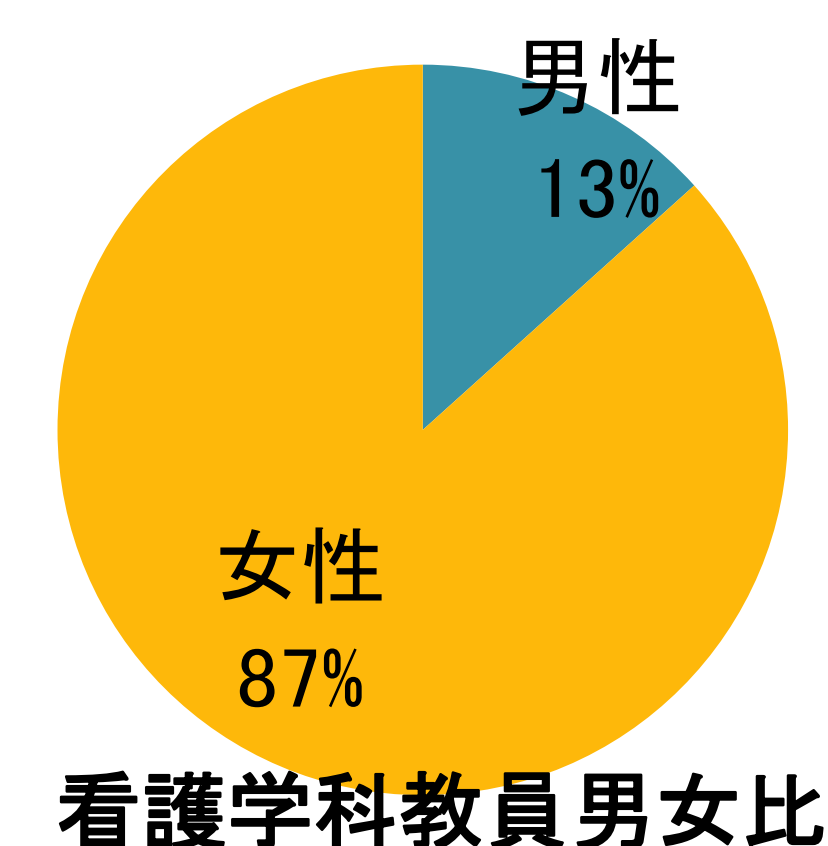
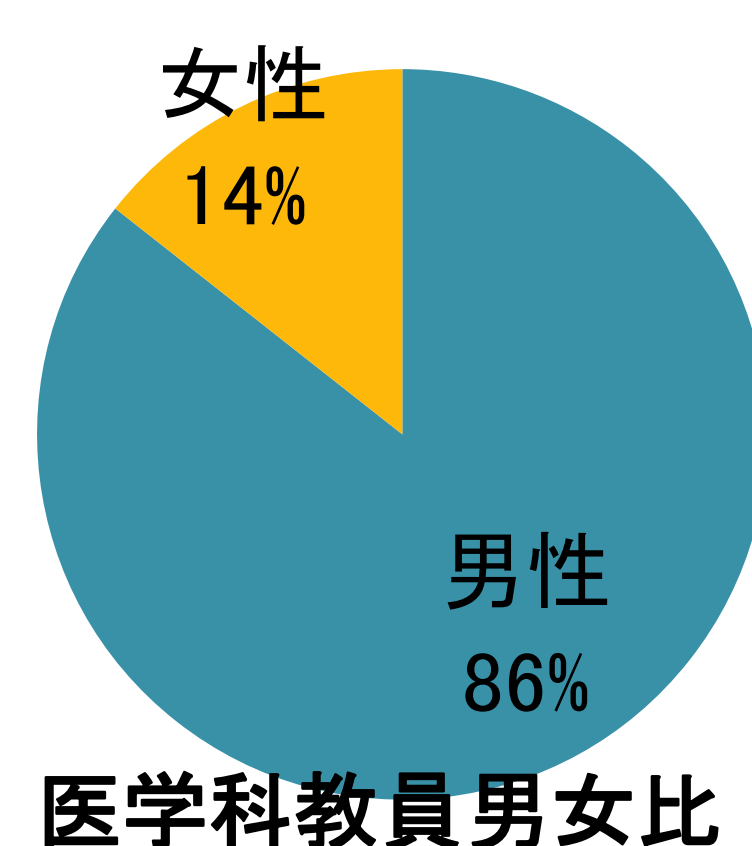
○ロールモデル集発行

進学希望の女子高生にむけてロールモデル集を発行しました。香川大学医学部の研究者として生き活きと働く姿を紹介し、キャリアデザインにむけて情報提供を行いました。また、香川県内の中・高等学校にも配布し、出前講座について周知を広げています。



3. 女性研究者採用計画

医学部の女性教員数は平成24年度現在、42名(医学科20名、看護学科22名)で全体の25.5%と目標達成しています。(医学科14.4%、看護学科84.6%)



1.女性研究者支援

○教授会を利用した啓発講座の開催

啓発講座では、教員が全員参加し、女性研究者支援の取組みについての活発な議論ができ、その際の女性研究者の限定公募についての情報提供が、全学初の女性限定公募の実現につながりました。

○女性のためのカウンセリング

メンター制度を利用し、新任者をはじめ学部教員及び学生に対して、研究分野選択のアドバイスや、家庭と研究の両立等、女性研究者支援や男女共同参画に関する相談を行っています。週に1度キャンパス内に専門のカウンセラーを配置し、女性のためのカウンセリングを実施しています。

2.次世代育成

○キャリアデザイン講座

第1回は年代も業種も異なる4名の女性経営者を招き、多彩な体験談を伺いました。工学女子として、ものづくりや研究に取り組むことの素晴らしさを知り、学生にとって、進路選択の幅を広げる機会になりました。また、香川経済同友会様に後援をいただき、一般企業の方の参加もありました。第2回目は女性研究者支援事業のメンバーとして女性研究



テーマは「女性経営者とトークしよう！」



小川賀代氏より熱いエールをいただきました

者育成に関わり、人気TV番組で現在活躍中の若手女性研究者をお招きし、育児と研究の両立と自己実現について語っていただきました。本講座は参加者同士の今後の人脈につながる大変有意義な講座としても成果を上げています。

○ロールモデル集発行



女子生徒・学生や保護者の理工系分野への関心や理解を高めるため女性研究者のロールモデルを掲載しています。県下の高校をはじめ近隣の高校に配布しており、ロールモデルを知る機会を持つことで、進路選択の一助になればと考えています。

○オープンスクールの相談コーナー設置

理系進学という選択肢を前にした女子中高生や保護者の素朴な疑問や不安に対して、女性研究者や女子学生・院生が直接相談に応じることで、将来の進路を具体的にイメージしてもらうことを目的としています。また、進路以外にも、独り暮らしのことやサークル活動についての相談もあり、アンケート結果からも大変好評だったことが伺えました。



相談者1名に対し1～2名の学生が対応し、これまで80名の相談がありました。同行の保護者も熱心に耳を傾けています

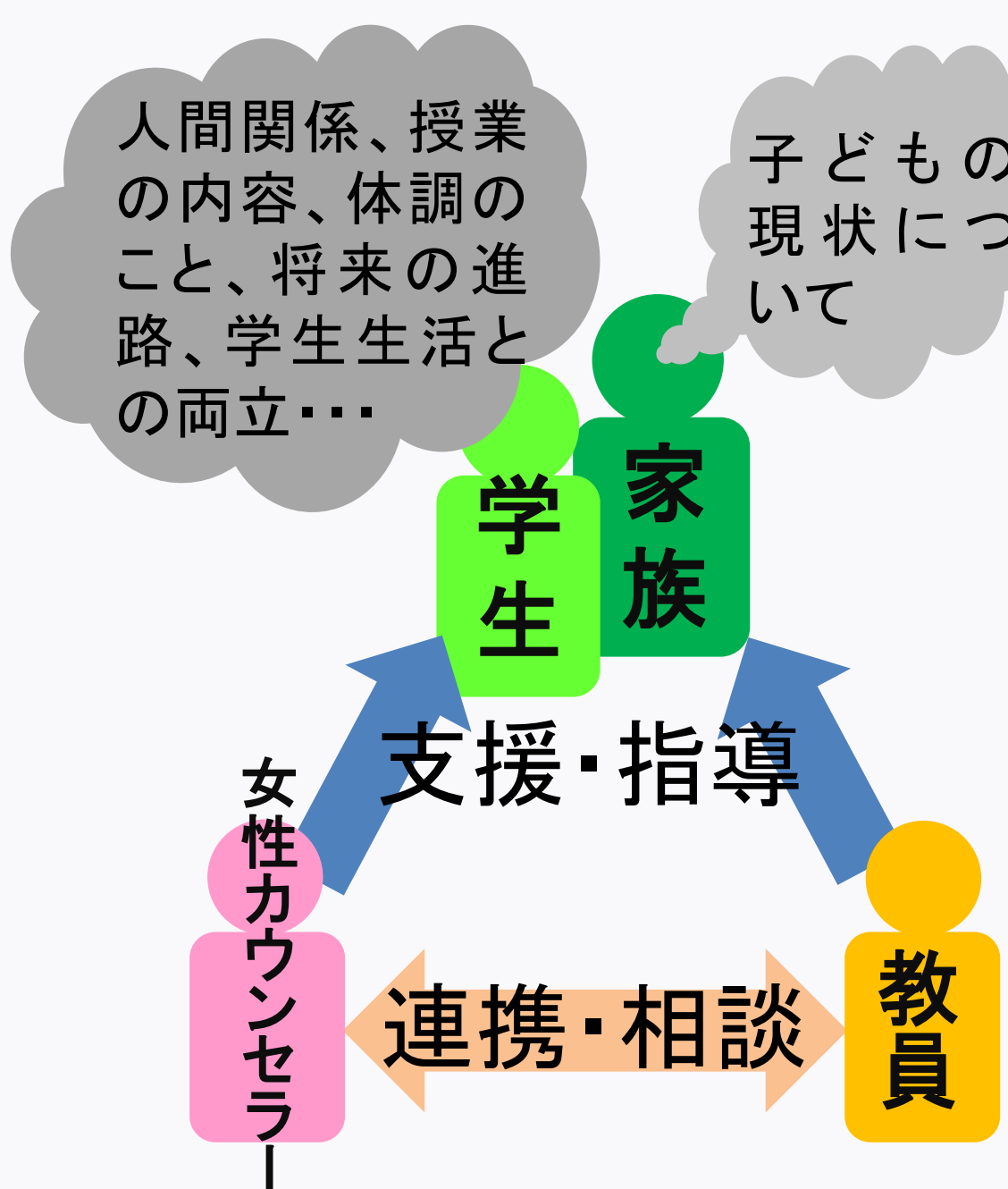


3.学部独自の取組み

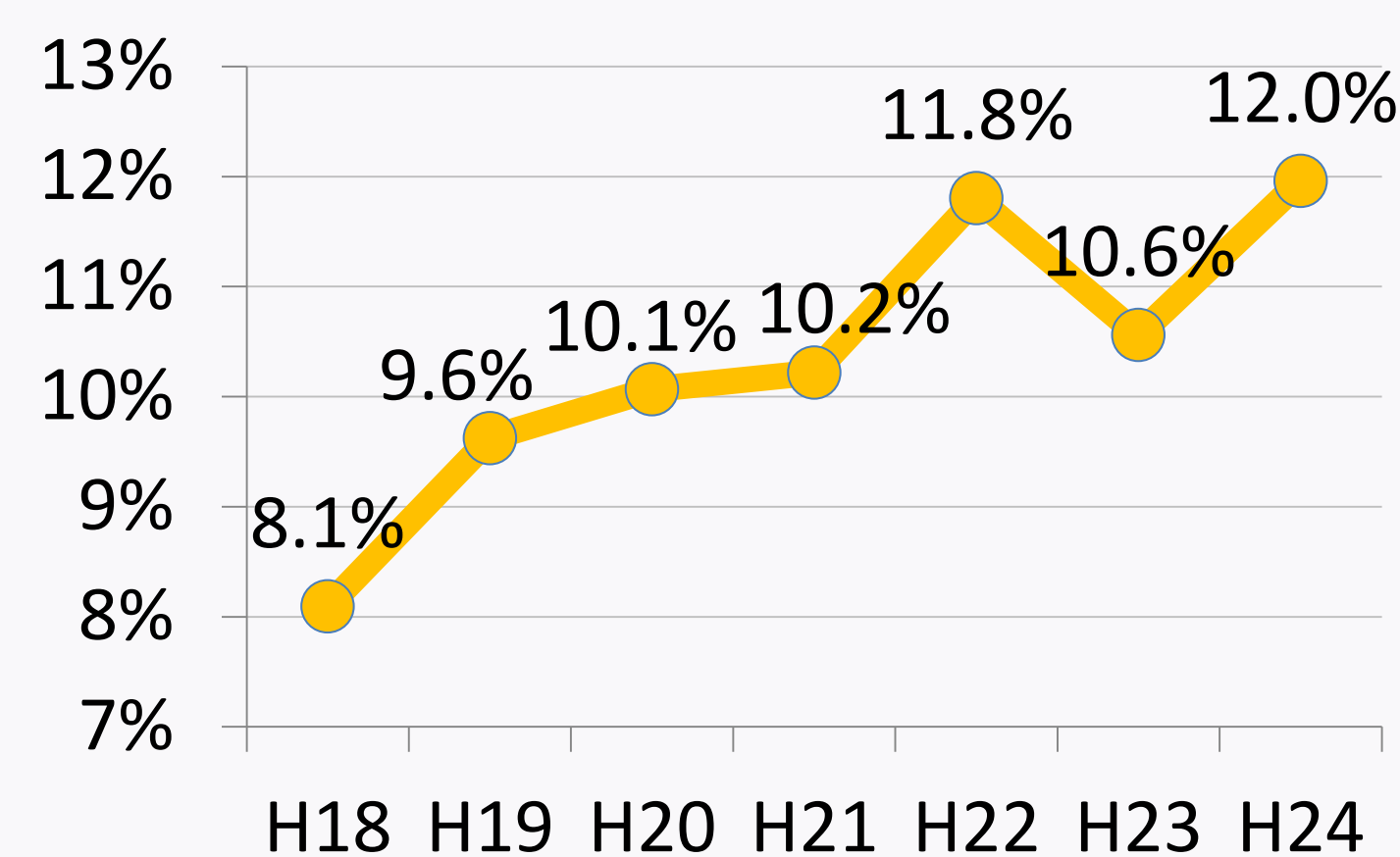
女子学生の安心した大学生活や社会進出に向けた環境整備を目的に「女子学生応援計画」を平成20年度より進めています。

優秀な女子学生の育成と定着へ

【精神面・生活面も含めた支援体制】



【工学部女子学生の割合の推移】



○出張授業 ○体験講座

未来の研究者・科学者育成を見据え、科学の面白さや奥深さを自ら体験・実感し、科学への興味を広げることを目的に、小学生を対象に、科学実験体験教室を開催しています。



科学実験
「手作りアイスクリーム」



女の子応援隊 料理を科学しよう
「とろみの不思議」



かがわ理科・ものづくり体験出張教室
「目について学びましょう！」

○出前講座

平成23年度は37名、24年度は143名の女子高生が参加。理系の魅力に改めて出会うことで、ロールモデルの少ない理系女子の進路選択や、自身の可能性を考える貴重な機会となり、保護者や教員からも大変好評でした。
(※NHK「ゆう6かがわ」で報道されました)



高松第一高等学校で講座を開催しました

○ガールズパーティ

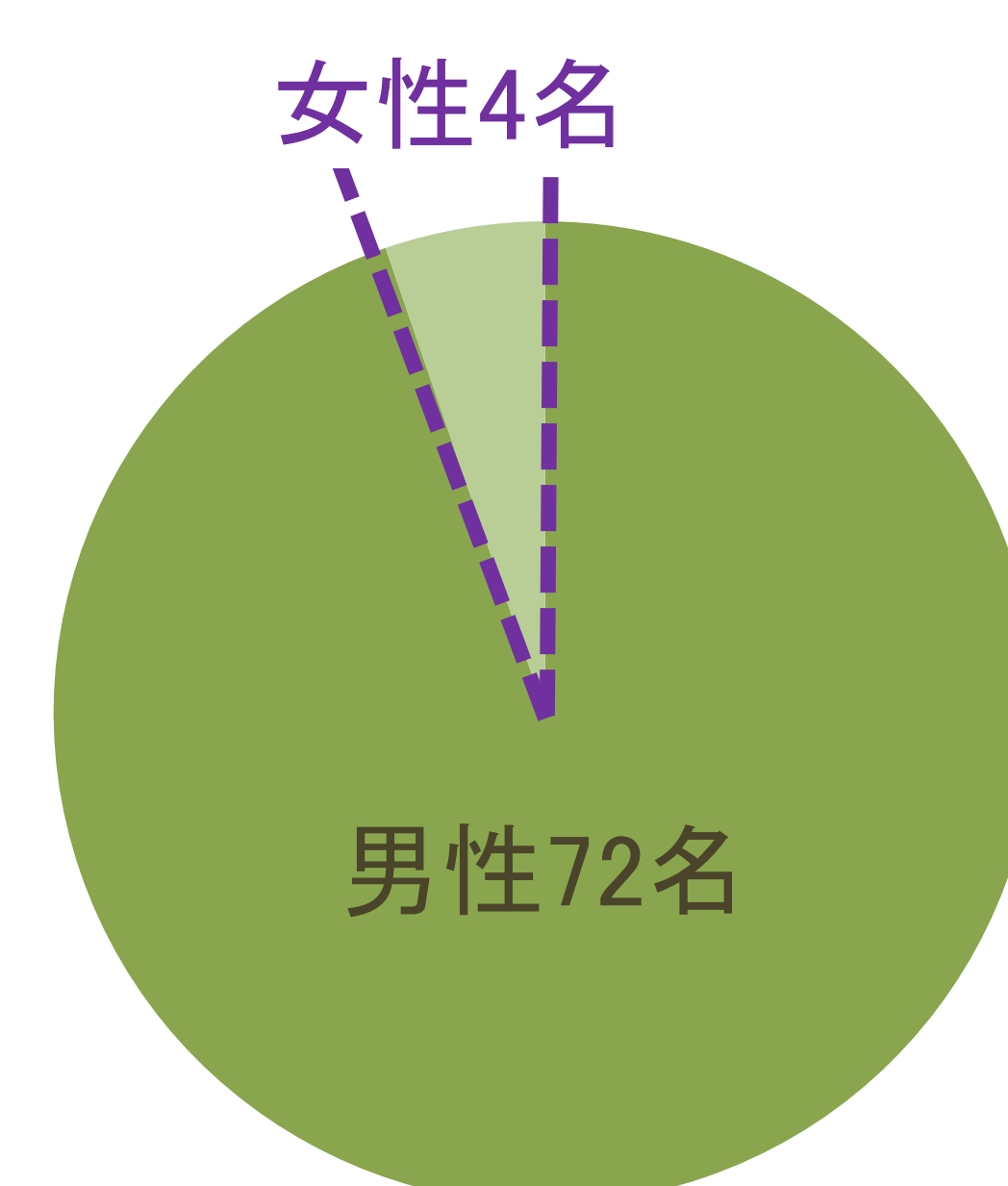
女子学生が主体となり、年に1～2回女の子だけのガールズパーティーを開催しています。先生や卒業生を招いたり、学年や学科を超えて授業や研究・就職などいろいろな情報交換の場となっており積極的に参加しています。



女の子が安心して集える場所として学生に好評です

○女性研究者限定公募の実施

平成24年度の女性教員数は
全体の5.3%



工学部の女性教員数は平成24年度現在4名で、全体の5.3%となっています。女性教員の採用促進に向けて5年ごとの採用計画を立てて取り組んでおり、目標達成に向けて平成24年度は全学初の女性研究者限定公募を実施しました。結果が楽しみです。

農学部での取組

1. 女性研究者支援

○研究補助者配置

研究者が育児・介護等を理由に研究を断念することなく、研究と育児・介護等とを両立させつつ、優れた研究を推進することができる環境をつくる目的で女性研究者に研究補助者を配置しました。最終年の平成24年度は、男性研究者にも支援対象が拡大され、延べ4名の研究者に研究補助者を配置し、成果を上げております。

農学部イクメン代表
小川教授



研究補助者配置されました



○科研費申請補助員配置

ポジティブアクションの一環として学内経費を活用し、子育て等を抱える若手女性研究者に対して、科研費申請を手伝う補助員を試行的に配置しました。子育て等と研究の両立および目標である「自然科学系女性研究者の科研費全員応募」の達成にむけた支援を行いました。

○教授会を利用した啓発講座の開催

学部内において女性研究者の育成支援の重要性の理解を深めるために、教授会を利用した研修会を開催しています。育児に取組む男性研究者のことも話題に出ています。平成23年12月15日に開催された教授会では18名が参加しました。



2. 次世代育成

○キャリアデザイン講座

平成22年度より、女性研究者として多方面で活躍している身近な先輩から多彩な経験談を聞き、研究者を志望する学部生・院生に対し、女性研究者のロールモデルならびにキャリアパスを示すことを目的としてキャリアデザイン講座を開催しました。

女子学生の進路選択の幅を広げ、自身のキャリアデザインに取り組む機会になっています。(参加延べ人数: 79名)



○女子院生による相談コーナー設置

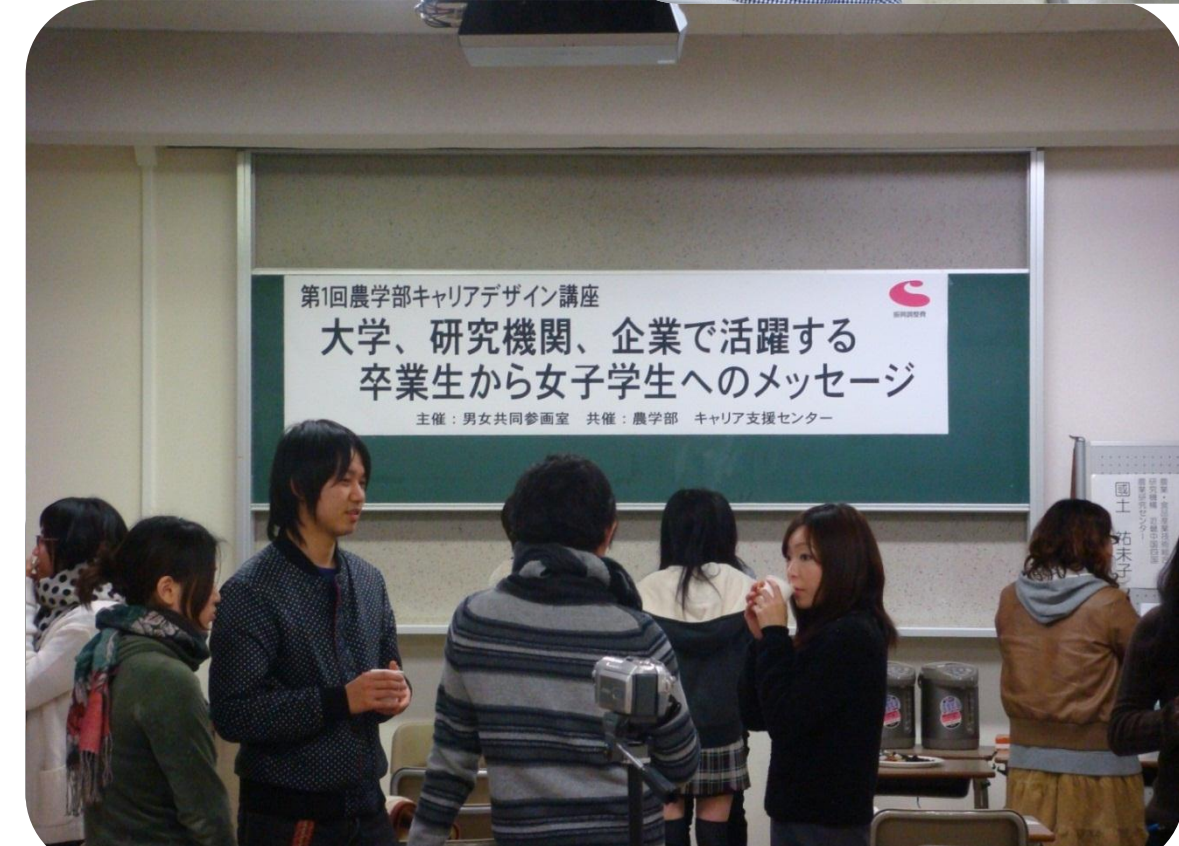
オープンキャンパスや学祭を訪れる女子中高生に向けて、女性研究者の協力のもと、女子学生が相談に応じる相談コーナーを設けました。和やかな雰囲気の中、生き生きと活躍する女性たちに出会いながら、学部の様子や研究の一端に触れることで、女子中高生がより深く、より広く自らの視野を広げられる機会を作っています。また、女子中高生とともに保護者も多く訪れており、身近な支援者である保護者に向けて、理系進路支援について理解を進めました。(参加延べ人数: 156名)



「リケジョカフェ」の相談コーナーで対応する大学院生

○ロールモデル集発行

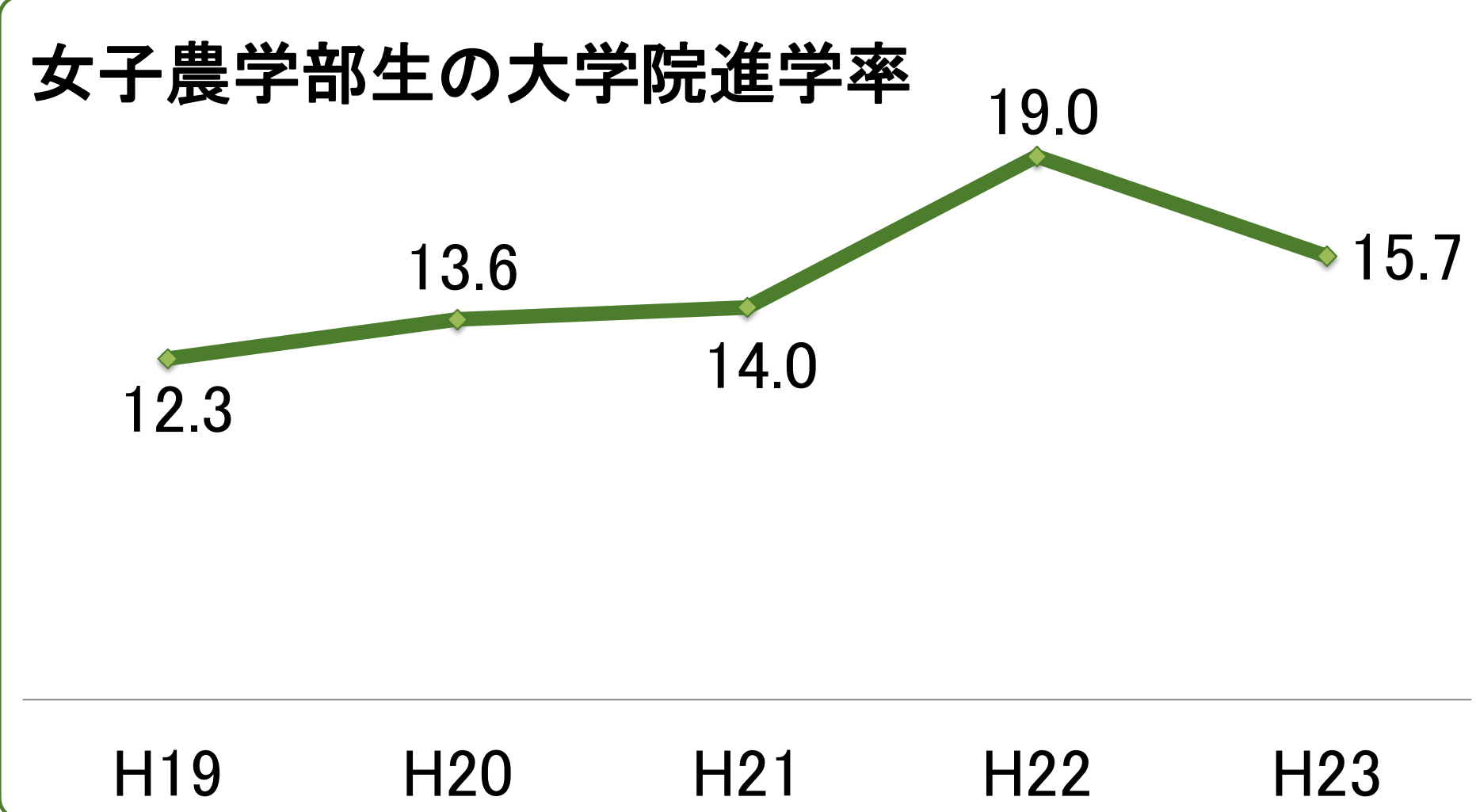
進学希望の女子高生にむけてロールモデル集を発行しました。どのような女性研究者が活躍しており、先輩たちは卒業後どのように研究を生かして活躍しているのかを紹介し、キャリアデザインにむけて情報提供を行いました。また、香川県内の中・高等学校にも配布し、出前講座について周知を広げています。



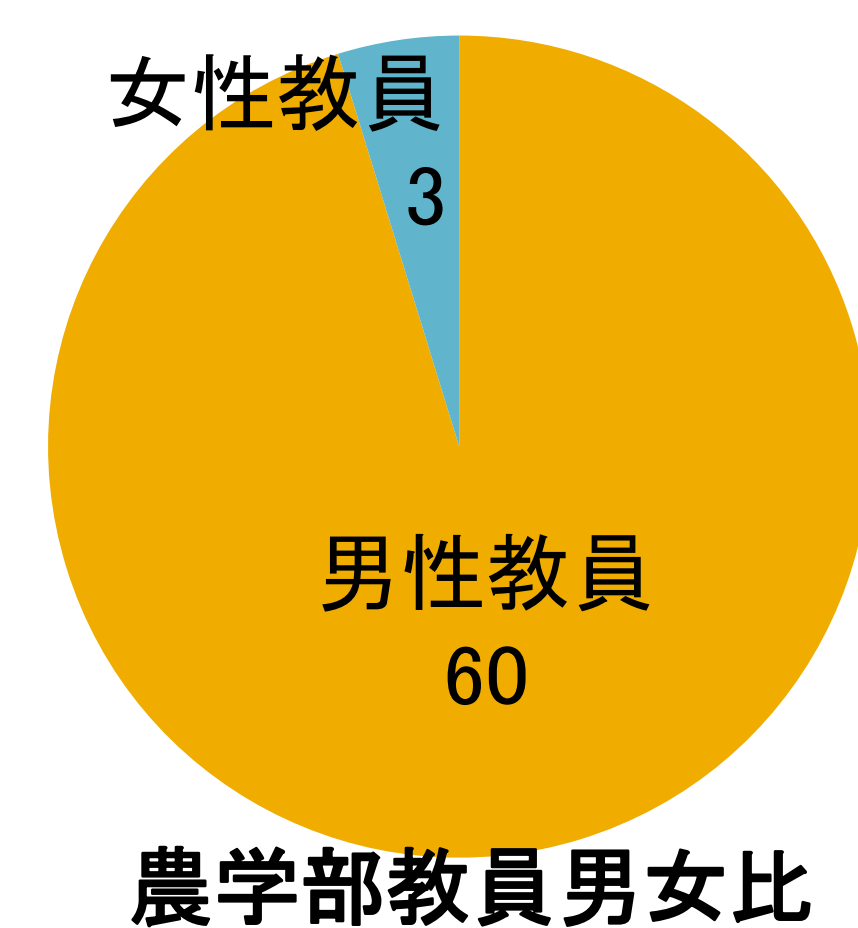
平成22年度より開催のキャリアデザイン講座は、現役の女性研究者の先輩との情報交流ができると好評

3. 女性研究者採用計画

農学部の女性教員数は平成24年度現在、3名で全体の4.8%となっています。農学部では、女性教員の採用促進に向けて、来年度から導入されるテニュアトラック制度の活用を検討しています。



平成24年度農学部生の男女比



[illegible]



- 4/25 4/4~ 4/1 3/22 3/8 2/25 2/1 1/30 1/14 ~15 12/15 12/7 12/6 12/5 11/30 11/28 11/26 11/14 11/11 11/3 11/1 10/30 10/28 10/27 10/18 10/5 10/3 9/28
- 育児に関するアンケート調査実施
 - 研究補助者配置
 - 医学部啓発講座「大学全体の就労・研究環境改善から見た女性医師の働き方」①⑦
 - 学内託児室設置
 - 第二回農学部キャリアデザイン講座⑧
 - 香川大学男女共同参画取組冊子発行
 - 工学部祭オープンキャンパス学生相談コーナー①⑨
 - 休日出勤時(学祭の学内無料託児事業実施)
 - 技術補佐員を医学部ワーク・ライフ・バランス支援室に配置
 - 民間タクシー会社を利用した病児移送サービス開始
 - 農学部祭オープンキャンパス学生相談コーナー
 - 中国・四国国立大学学長による男女共同参画宣言
 - 教授会を利用した工学部啓発講座
 - 休日出勤時(推薦入試の学内託児事業実施)
 - 工学部 キャリアデザイン講座「女性経営者とトークしよう!」②④
 - 幸町キャンパス学生向け男女共同参画講座②①
 - 男女共同参画推進室のご案内リーフレット発行
 - 女性研究者次世代育成プロジェクト出前講座実施②②
 - かがわ教育男女共同参画フォーラム②③
 - 教授会を利用した農学部啓発講座
 - 休日出勤時(センター入試)の学内託児事業実施
 - ワークライフバランスポスター配布②④
 - ワークライフバランス講座②⑤
 - 休日出勤時の学内託児実施
 - RiJiカフェ②⑥
 - トイレにおしめ交換台を設置

平成二十四年度

研究補助者配置

竹村和子先生追悼遺作展開催

幸町 第一回キャリアデザイン講座②⑦

2012 11.30 12.00
香川大学
097-632-3055
参加無料

10代からの託児デビュー
未来を拓くワーク・ライフ・バランス

日時: 平成24年11月30日(水) 13:00~15:00
場所: 幸町キャンパス 5階 研究交流棟5階
対象: 香川大学学生、教職員、関係者(要予約)

RiJi カフェ
~3.8国際女性デー 理事とトークしよう~

3月8日の国際女性デーを記念して、女性研究者の活躍の場を、ワーク・ライフ・バランスをテーマに、学生・教職員・関係者との交流の場を設けます。ワーク・ライフ・バランスをテーマに、学生・教職員・関係者との交流の場を設けます。ワーク・ライフ・バランスをテーマに、学生・教職員・関係者との交流の場を設けます。

と き: 2012年3月8日(木)16:00~17:00
会場: 大講義室(香川大学幸町キャンパス)

2011.12.7 13:00 ~ 17:00

香川大学 研究交流棟 5階 研究交流スペース 参加無料

かがわ教育男女共同参画フォーラム

次世代の未来を拓く
学校からできる男女共同参画

全体講演「リケジョ(理系女子)は輝く〜復興は多様な視点を活かして〜」
中村 文子 氏 (日本女性科学者フォーラム代表、小幡教育委員)

2011.12.7 13:00 ~ 17:00

香川大学 研究交流棟 5階 研究交流スペース 参加無料

かがわ教育男女共同参画フォーラム

次世代の未来を拓く
学校からできる男女共同参画

全体講演「リケジョ(理系女子)は輝く〜復興は多様な視点を活かして〜」
中村 文子 氏 (日本女性科学者フォーラム代表、小幡教育委員)

定時に
かえろう!

WorkLifeBalance. あなたが輝く働きかた。時間を活かして、仕事も生活も豊かに。

香川大学男女共同参画推進室

2011.12.7 13:00 ~ 17:00

香川大学 研究交流棟 5階 研究交流スペース 参加無料

かがわ教育男女共同参画フォーラム

次世代の未来を拓く
学校からできる男女共同参画

全体講演「リケジョ(理系女子)は輝く〜復興は多様な視点を活かして〜」
中村 文子 氏 (日本女性科学者フォーラム代表、小幡教育委員)

工学部 キャリアデザイン講座
女性経営者とトークしよう!

11月28日(木) 13:00~15:00

会場: 工学部 3階 大講義室

講師: 女性経営者 佐藤 美穂 氏

香川大学男女共同参画推進のあゆみ



幸町啓発講座」とうして男女平等が大学に求められているのか」(16)

[illegible]



olive・heart

発行元 香川大学男女共同参画推進室

sankaku@ao.kagawa-u.ac.jp

<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku>

2013.3発行

